

平成24年10月23日 会頭記者会見 発言要旨

時事の話題

■景況について

本所が実施しているBSI調査によると、7月から9月の京都地域の経済は、自社業況がマイナス8.3と、前期から引き続き悪化している。中小企業の業況悪化や、日中関係の冷え込みによる対中輸出の落ち込みが懸念される。政府と日銀には、政治的空白をさけ、円高の是正、デフレの脱却、成長戦略の実行を地元産業界の声として望みたい。

特に京都経済にとっては、市内GDPの約2割をサービス業が占めており、観光が主力産業の一つとなっている。業界によっては、円高の影響により、欧米からの観光客が震災前の水準に戻らないという声が聞かれる。特に観光業界では外交問題による中国人観光客の落ち込みへの懸念もあり、本所としても今後の動向を注視している。小売業などからは、デフレの改善及び消費購買力の向上を求める声も強い。政府・日銀がそれぞれの責任の範囲で政策を遂行するとともに、相乗効果を生み出す中で、個人消費の押し上げ・経済成長を着実に実現していくことが重要である。これらについては、先日、日銀の白川総裁と懇談する機会があり、京都経済の状況として伝え、日銀としての対応をお願いした。今後も、機会に応じて、政府などに対して、地域経済を支える中小企業の状況を発信し、政策への反映を要望していきたい。

京都商工会議所の動き

■京都産業まつりの開催について

10月27日・28日、岡崎のみやこめっせにて、本所の創立130周年事業のメインとなる「京都産業まつり」を開催する。本所主催の事業では最大規模になり、約300社に出展などで協力いただく。京都から生まれた日本初・世界初の製品群や本所が認定している知恵ビジネス企業などのブース展示、地元プロスポーツチームによるスポーツ教室、親子で楽しめる伝統産業の職業体験など、ご家族で楽しんでいただけるので、ぜひお越しいただきたい。

■京・知恵舞台の開催について

京都産業育成コンソーシアムの事業として、11月16日に「京・知恵舞台」を開催する。このコンソーシアムの取り組み方については、90年代にアメリカで実施され、大手企業の誘致から中小企業の育成へと転換して成功したエコノミックガーデニングの手法に似ている。この手法の成功には、施策の対象を成長志向の強い意欲のある中小企業に絞ったことと、手間暇かけて大切に育てる長期的視点をもった姿勢が、行政と企業に大きな信頼関係をもたらしたことが挙げられる。「京・知恵舞台」が、多くの事業者に対して、新たな顧客創造・価値創造に取り組むための、知恵と勇気を与える機会となることを期待している。今後も、京都産業育成コンソーシアムを基盤に、京都府・京都市などオール京都で中小企業の支援施策の効率化や共同化に取り組み、ベクトルを合わせて、力強く中小企業支援していきたい。

■会津若松商工会議所との相互交流について

来年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の舞台となる会津若松と京都の商工会議所間で、ドラマが放映される平成25年を「相互交流イヤー」と位置づけ、観光振興や震災復興に資する事業

を実施することとしたい。ドラマの主人公である八重は、会津藩の出身で、京都においても同志社の創設者・新島襄の妻となるなど、双方の地にゆかりがあるが、本所の第2代会長を務めた山本覚馬が八重の実の兄であることから、本所としては特に親しみ深く感じている。具体的な交流事業については、今後、双方の商工会議所において検討を始めるが、来年1月か2月に本所の観光・運輸部会が、会津若松を訪問することとしている。この訪問を機に、観光分野をはじめとする相互交流事業を推進していきたい。

記者からの質問事項

■関西電力が企業向けの電力料金を2割引き上げるとの報道もあるが、会頭の考えを聞かせてほしい。

電力料金の引き上げの報道もあるが、まずは安全が確保された上での原発再稼働を望みたい。再稼働されない場合には火力発電が主体になるだろうが、既に関西電力はかなりのコスト上昇が見込まれており、この状態が続くのであれば、電力料金の値上げはやむを得ない。ただし、2割という数字については、産業界としても現実的に許容できるものではない。電力料金を値上げする前に、原発再稼働の問題や代替エネルギーの問題を検討するほか、産業界や家庭を含めた強力な節電が求められる。供給側である関西電力の経営努力と、需要者側である消費者の節電の取り組みを徹底した上で、電力料金値上げについて、双方が議論すべきである。

■電力料金を値上げするよりも、原発再稼働など何かしらの対応が必要というスタンスか。

原子力規制委員会による何らかの決定がされるまで、再稼働については不透明である。むしろ、関西電力の企業内努力と、我々需要者側の節電を照らし合わせ、電力料金の値上げについて議論を深めるべきである。本所としても、関西広域連合や各自治体の動きを注視しながら考えていく必要がある。

■京都大学の山中伸弥教授がIPS細胞の分野でノーベル賞を受賞されたが、地元企業の再生医療分野を後押ししていきたい思いはあるか。

京都には医療に関連する企業が多いので、本所としても積極的に支援していきたい思いはある。ただ、1人の実績は分野ごとに少しずつ拡大していくので、まだ具体的な計画をイメージできる段階にはない。今回の受賞が、京都での健康医療分野における新たなベンチャー企業を興すチャンスにもなるだろう。京都の特徴である“先駆ける”という思いを燃やすきっかけになったと考えている。

京都商工会議所 創立130周年

京都産業まつり



～実感！体験！京都企業の知恵と未来～

歴史・文化・産業により育まれてきた「京都の知恵」。京都商工会議所創立130周年を記念し、多彩な知恵の数々を実感・体験できるイベントを開催いたします。京都で働く方をはじめ、ご家族やお子さまも楽しめる企画が盛り沢山。京都の未来を創る知恵の祭典、ぜひお越しください。

クイズラリー

クイズに答えて、
豪華景品をGETしよう！

全問正解者の中から抽選で、京都市内ホテルの食事券・各種施設入場券・スポーツ観戦券・京都企業の豪華賞品などが当たります。

スタンプラリー

小学生以下を
対象に開催！

参加者はお菓子つかみどりにチャレンジ。

2012 10/27(土)・10/28(日)
10:00～17:00 10:00～16:00

場所：みやこめっせ 3F他 京都市左京区岡崎成勝寺町9-1

- ❁ 地下鉄：東西線「東山駅」より徒歩約8分。
- ❁ 京都駅 から：地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」乗りかえ、東西線「東山駅」下車。
市バス・100系統「京都会館美術館前」下車、
または市バス206系統 東山通り・北大路バスターミナル行き「東山二条」下車。
- ❁ 四条河原町から：市バス5系統「京都会館美術館前」下車、または市バス32・46系統「京都会館美術館・平安神宮前」下車、
または市バス31・201・203系統「東山二条」下車。
- ❁ 三条京阪から：市バス5系統「京都会館美術館前」下車。

主催：京都商工会議所（「京都・知恵産業ウィーク」実行委員会）
<http://www.kyo.or.jp/chieweek/>
お問合せ：産業振興部 TEL:075-212-6443

入場料無料



後援：京都府・京都市・京都経済団体協議会（京都商工会議所・京都経営者協会・社団法人京都経済同友会・公益社団法人京都工業会）・近畿経済産業局・近畿地方整備局・近畿運輸局・京都府教育委員会・京都市教育委員会・日本商工会議所・京都府商工会議所連合会・公益社団法人京都府観光連盟・公益社団法人京都市観光協会・京都物産出品協会・京都市交通局・近畿日本鉄道株式会社・京阪電気鉄道株式会社・京阪バス株式会社・京福電気鉄道株式会社・西日本旅客鉄道株式会社・阪急電鉄株式会社・株式会社京都銀行・京都信用金庫・京都中央信用金庫・朝日新聞京都総局・NHK京都放送局・エフエム京都・京都新聞社・KBS京都・産経新聞社京都総局・日本経済新聞社京都支社・毎日新聞京都支局・読売新聞京都総局

知恵産業のまち・京都を創る

京・知恵舞台

京都産業育成コンソーシアムでは、厳しい経営環境の中、自社の強みと知恵を活かし、事業の成長、発展を図る企業が一堂に会し、「京・知恵舞台」で、日頃の取組の成果披露や交流など、さらなるチャレンジに向け取り組む意欲を高揚させる場を提供いたします。

平成24年11月16日(金) 13:30~16:40

会場／京都平安ホテル

京都市上京区烏丸通上長者町上ル

主催／京都産業育成コンソーシアム(京都府、京都市、京都商工会議所、(公社)京都工業会)

概要

挨拶／立石義雄(京都商工会議所会頭)



記念講演

「高く買っていただくための知恵」——加護野忠男氏(甲南大学特別客員教授)

成果事例発表

「知恵の認証制度のかしこい活用法について考える」

コーディネーター／中森孝文氏(龍谷大学政策学部教授)



発表企業／株式会社アドバン理研 株式会社京都紋付 株式会社光伸舎 三共精機株式会社

情報交換・交流会(有料)17:00~

※知恵の認証企業PR用スペースを併設

参加費／無料(情報交換・交流会のみ有料/3,000円)

定員／先着200名(交流会100名) ※ご参加いただけない場合のみ連絡を申し上げます。

お申し込み／裏面の申込書により、11月7日(水)までにお申し込みください。

お問合せ先／京都産業育成コンソーシアム(京都商工会議所ビル6階)

☎075-211-1880 Email:kyoto-conso@kyo.or.jp

京都産業育成コンソーシアム